第５学年道徳科

「友達とよりよい関係を築くために大切なこと」

学習指導者　藤川　裕人

単元の概要

友情・信頼に関する質問紙調査の結果と、友達関係で悩む登場人物の様子から子供たちは、「友達と関わる時に大切なことを考えたい」という思いをもち、「友達とよりよい関係を築くために大切なことを考えよう」と目標を設定した。その後、単元を通してよりよい関係を築くために大切なことやこれからどんな行動を取っていきたいかを考えた。

課題設定

初めに、補助黒板やワークシートを見ながらこれまでの学習を振り返る場を設定することで、本音を伝えたり男女で上手く関わったりする上で大切なことを想起した。そして、単元の目標を達成できたかを子供たちに問い、「信じ合うために大切なことを考えたい」という考え取り上げ、目当てを設定した。



お互いを信じ合うために大切なことを考えよう

解決の見通し

「道徳科の学び方のポイント」を基に、本時特に意識したい学び方を表出する場を設定したことで、「私は『友達の考えを聞く・比べる』にするよ。前の時間に○○さんの考えを聞いて、男女で関わる時には、お互いのよさを素直に認めることが大切ということに気付いたからだよ」などと、前時の振り返りやこれまでの経験を基に学び方を選び、解決の見通しをもつ姿が見られた。



解　決

「友のしょう像画」の教材文の内容を確認し、手紙を送らなくなった時の和也の心情を確かめた後、肖像画を見た時の和也の心情を想像する場を設定したことで、「僕のことを覚えてくれていた嬉しさや安心感があるけど、決めつけて疑ってしまった後悔がある」などと単一の感情で終わらせず、複雑な葛藤として捉える姿が見られた。さらに、信じ合うために大切なことを記述した後、特に大切だと思うことを学習支援アプリで共有することで、目的意識をもって関わる相手を選び、意見を交流して深め合う姿が見られた。全体共有では、「普段から信頼される行動をとることが大切」「相手の立場に立つことが大切」などと信じ合うために大切なことを共有した。



信じ合うために、決めつけないことが大切だよ。

確かにそうだね。相手の気持ちを考えることも大切だと思うよ。

振り返り

場面の切り替わりを伝えることで、「生活に生かせそうなことを考える」という振り返る方法を想起し、本時大切だと思ったことと自分の生活場面の具体が書かれている「マイライフシート」を基に「お互いに信じ合うためには決めつけて疑ってしまわないことが大切だと分かった。物の貸し借りをする時は勝手に決めつけず、相手の気持ちを考えていきたい」などと振り返る姿が見られた。



考察（○：成果、▲：課題）

○　マイライフシートを基に、生活に生かせそうなことを考える姿が見られた。また、学習支援アプリで考えを共有し、考えの異同を捉えやすくしたことで、目的意識をもって友達と関わる姿が見られた。

▲　表面的な理解や言葉にとどまり、人間の弱さに立ち返って本音を引き出し、実践へとつなげる話し合いに時間をかけきれなかった。

右のQRコードから、学習指導案や他の実践をご覧いただけます。